

浪江で農業を始めませんか？

就農に関する相談を受け付けています



浪江町農林水産課では、町内での新規就農に関する相談を随時受け付けています。就農前の研修先や各種支援制度についてもご紹介することができます。就農イベントにも積極的に参加していますので、ぜひお気軽にお問い合わせください！



パンフレット  
ダウンロードはこちら



お問い合わせ／  
浪江町農林水産課  
TEL: 0240-34-0245

浪江フラワープロジェクトの  
最新情報をホームページで！

これまでの花通信やアーカイブ動画を公開中！

<https://www.namie-flower.jp>

浪江町 農林水産課

〒979-1592 福島県双葉郡浪江町大字幾世橋字六反田7-2

TEL: 0240-34-0245

<https://www.town.namie.fukushima.jp>



Facebookも  
チェック



浪江町



秋

Autumn  
2021

# なみえ花通信

浪江の花作りと農業の最新情報をお届け！





## 浪江町で花農家になりたい！ 夢を叶えるために奮闘中

浪江町には7軒の花農家がありますが、生産者の皆さんの努力もあり、トルコギキョウを栽培する花き農家になりたいと、町内での新規就農を希望する問い合わせが増えてきています。今回取材させてもらった渡瀬さんご夫婦もその1組。県外出身のお二人は川内村でブドウ栽培を経験した後、今年5月に浪江町に移住し、現在はNPO法人Jinで技術習得の研修に励んでいます。初めての花作りは「大変だけど苦にならない」と言い、来年春の独立に向けて着々と準備を行なっています。新規就農にあたり、多くの人にとってハードルとなる、助成金申請や農地探しはNPO法人Jinや浪江町役場のサポートで、スムーズに進んでいるとのことです。「ハウス一面に花が咲く様子を自分のハウスでも実現したい」と夢いっぱいに話す、お二人のインタビューをぜひご覧ください！



初めてのチャレンジで見事成功！



小輪で可愛いサイズです。



腰の高さにプランターがあるため、しゃがむことなく作業ができます。



土づくりから定植、収穫まで、花作りのノウハウを学びます。



来春の独立就農に向けて、研修と準備に励んでいます。



## 新たなチャレンジ！ 水耕栽培でトルコギキョウ

今年の2月より花き栽培を開始したフラワーファームなみえ（恒栄電設株式会社）は、通常の土耕栽培と並行して水耕によるトルコギキョウの栽培にチャレンジしています。ポリエステル培地という、古着を栽培用の培地として再利用した、腰ほどの高さのプランターで栽培されるトルコギキョウが並ぶハウス内の景色は新鮮です。この栽培方法は野菜では前例があるものの、花での事例は少なく、会社としても、花き栽培としても新しい試みとなりました。栽培途中の段階では「咲くかどうか分からない」と現場の社員の方も話していましたが、小輪で可愛いトルコギキョウが無事に咲き、出荷を迎えることができました！道の駅なみえなどで販売され、実際に飾ってみると日持ちも良く、机の上などに一輪挿しで飾るのにもぴったりです。水耕栽培外にも、これから新しいことにチャレンジしていくという恒栄電設株式会社の動向にこれからも目が離せません！

## 浪江の農業を知る！ 学生の視察を受け入れ

浪江町では農業関連の教育機関の視察等を積極的に受け入れています。9月には矢吹町にある農業短期大学の花き専攻の学生6名が視察に訪れました。NPO法人Jinのは場を見学し、清水裕香里代表より震災後にトルコギキョウ栽培を始めた経緯や栽培技術、法人経営についてお話を聞きました。また、フラワーファームなみえ(恒栄電設株式会社)からは採用情報を含めた、今後の農業分野における展望など、学生たちにとっても次に繋がる具体的なお話をいただきました。10月には東京農業大学の学生16名の視察受け入れに加え、「農業の担い手育成」を目的とした取り組みの一環として、エゴマの収穫や鳥獣害対策のフェンス設置、タマネギの定植を同大学の総勢20名以上の学生と行いました。実際に町を訪れることで、復興・発展を直に感じてもらいながら、浪江町の農業の未来のためにこれからも歩を進めていきます。



花き専攻の学生たちが実際にNPO法人Jinのは場を見学しました。



エゴマの収穫を地域の農家と共同で行いました。



完成を迎えた苧宿地区のカントリーエレベーター。



周りには刈り取りを待つ、黄金色の稲穂が揺れていました。



## 浪江の稲作復活へ！ カントリーエレベーター完成

今年も浪江町内各地の水田で、黄金色に染まった稲穂の美しい風景が広がりました。震災前にはおよそ1,250ha作付けされていた水稲は震災によって一時生産が止まってしまいましたが、町の一部避難指示解除後、営農者の方々の努力で作付面積が年々増え、今年は約170haにまで拡大しました。その動きを後押しするように、この秋、2基のカントリーエレベーターが落成を迎えました。9月22日に苧宿地区、10月26日に棚塩地区のカントリーエレベーターがそれぞれ落成式を迎え、稼働を始めました。水田で刈り取られた籾(もみ)の乾燥・調製・貯蔵・籾摺・選別・検査・出荷を一貫して行える超大型施設で、長期避難からの営農再開による水稲農家の皆さんの作業の手間や設備投資による経済的な負担などを軽減することなどを目的に整備されました。今後、栽培面積の拡大や収益の向上に繋がるが見込まれ、浪江町の水稲再興の一翼を担う施設として大いに期待されます！

## What's new? 浪江の旬な情報をお届け!

What's new

01

福島県産 浪江のいちじく



浪江町で栽培されたいちじく。その名も「福島県産 浪江のいちじく」の出荷が今年秋から始まりました!道の駅なみえで販売され、好評を博しました。

What's new

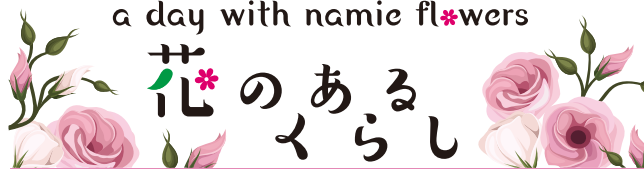
02

假屋崎省吾先生×トルコギキョウ



9月15日～26日まで開催された「假屋崎省吾邸にいける」の展示作品に花座衛門と荒川園芸のトルコギキョウが使われました。假屋崎先生オリジナル振袖との豪華コラボレーションとなりました。

a day with namie flowers



今年度のなみえ花通信では、季節に合わせて“浪江町の花”を使ったフラワーアレンジメントをご紹介します。春夏秋冬さまざまな楽しみを!ご自宅でもトライしてみてください!



### テーマ“花の手みやげ”

カラーをアクセントにしたアレンジ。花畑から無造作に摘んできたようなイメージで生けました。一見お花を生けるのは難しそうなおトートバッグでも、中にガラス瓶を2つ入れることで、いつもとちよつと雰囲気の違いが花瓶に早変わり!

花材：カラー、ダリア、バラ、リキュウソウ、ユキヤナギ



カラーはまとめて東感を出すのがおしゃれ



### Point! ステムを魅せる

カラーを生けるときは花だけでなく、すっきりとしたステム(茎)まで魅せるのがポイント。下から上にしごくことで、より美しくステムを見せることができますよ!

講師：フラワーコーディネーター 近美豪人  
北京花博2019 福島県プースプロデューサー。  
有限会社 花のチカミ代表。日花協全国大会優勝、  
JFTD Japan cup準優勝、World cup日本代表  
選考会出場など、数々の大会で入賞を果たす。

